

「感染の再拡大防止に向けて（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

- ・まん延防止等重点措置を実施すべき区域を含むこととなる東京都、京都府、沖縄県を対象として、不要不急の往来自粛を道民の皆様にご要請することについては理解する。
- ・道案に賛同する。大阪や東京は、緊急事態宣言解除後のリバウンドで今回のまん延防止等重点措置の対象になっている。よって、それらの地域との往来は避けるべきと考える。また、だんだん暖かくなる北海道もこれからの感染拡大が予想されるので、行動規制を掛けられる投げ掛けが必要。
- ・資料については、特に意見はない。但し、特に札幌市民へのアピールが足りないと感じている。市民向けに強力な要請をお願いしたい。
- ・案について異論はないが、花見とゴールデンウィークが、控えているので気のゆるみと自粛疲れが心配。現在の状況は北海道として安心できる状況ではないことから、道民にこの状況を乗り越えてワクチン接種を速やかに終えるようにもう一度のアピールをしてほしい。

2 関係団体の意見

- ・来週から高齢者向けのワクチン接種が開始されるとのことであるが、道においては、市町村のワクチン接種に対して万全の支援を行っていただき、可能な限り迅速に接種が行き渡るようお願いしたい。
- ・札幌市は、依然として感染が減少せずにステージ4相当の前後で推移している状況にある。知事においては、札幌市長と連携の上、札幌市民をはじめとする道民や事業者が今一度感染防止に対する緊張感を高め、札幌市内の外出自粛、札幌市との往来自粛などの感染防止対策に前向きに取り組んでいただけるようなメッセージの発信をお願いしたい。
- ・既に道では、まん延防止等重点措置の対象となる地域や外出自粛などの行動制限が要請されている地域との不要不急の往来自粛要請を行っているが、今回、3都府県がまん延防止等重点措置の対象となることに伴い、対象都府県名とともに道民に今一度周知徹底していただき、感染が拡大傾向にある他都府県との移動によって北海道の感染が拡大するリスクを抑制していただきたい。
- ・変異株について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、つまびらかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。